

よりみちパン!セ in ちよだ —あしたの歩きかた—

新井 紀子さん

(理学博士 国立情報学研究所教授)

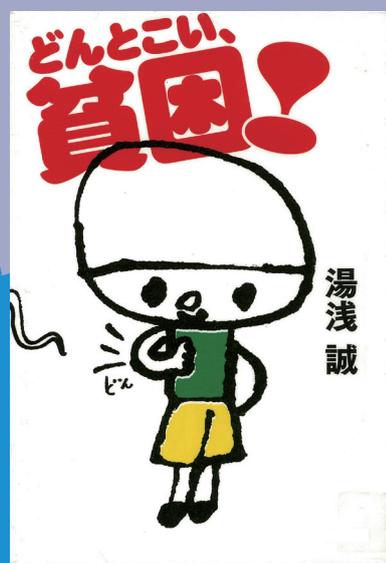
×

湯浅 誠さん

(社会活動家 法政大学教授)



『ロボットは東大に入れるか』
新井 紀子 / 著 イースト・プレス



『どんとこい、貧困!』
湯浅 誠 / 著 イースト・プレス

これからの生き方は、仕事は、
どうなっていくんだろう？
「学校でも家でも学べない、リアルな知恵」を
読者に提供し続けている人気のシリーズ
「よりみちパン!セ」著者のお二人が語ります。

2015年3月19日(木)

18時30分～20時(18時開場)

千代田区役所1階 区民ホール

定員：100席(事前申込不要、当日先着順) 入場無料

あらい のりこ
新井 紀子さん



東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。イリノイ大学数学科博士課程修了。理学博士。現在、国立情報学研究所教授。2005年より学校向け情報共有基盤システム NetCommons(ネットコモンズ)をオープンソースとして公開。現在、全国の学校のホームページやグループウェアとして活用されている。2011年から人工知能分野のグランドチャレンジ「ロボットは東大に入れるか」のプロジェクトディレクターを務める。ナイスステップな研究者、科学技術分野の文部科学大田表彰などを受賞。著書に、『数学にときめく』(講談社ブルーバックス)、『ほんとうにいいの? デジタル教科書』(岩波書店)、『コンピュータが仕事を奪う』(日本経済新聞社)、『数学は言葉』『計算とは何か』(東京図書)、『ハッピーになれる数学』『生き抜くための数学入門』(イースト・プレス「よりみちパン!セ」)ほか。

ゆあさ まこと
湯浅 誠さん



社会活動家。法政大学教授。1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。2008年末の年越し派遣村村長を経て、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。現在、朝日新聞紙面審議委員、日本弁護士連合会市民会議委員。文化放送「大竹まことゴールデンラジオ」レギュラーコメンテーター。講演内容は貧困問題にとどまらず、地域活性化や男女共同参画、人権問題などに渡る。著書に、『ヒーローを待っていても世界は変わらない』(朝日新聞出版)、『反貧困』(岩波新書、第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞)、『貧困についてとことん考えてみた』(茂木健一郎と共著、NHK出版)など多数。